事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
整備計画策定主体である岡崎市都市基盤部市街地整備課において評価を実施し、岡崎市社会資本整備総合交付金評価委員会にて評価内容を審議し、評価結果の取りまとめを行った。	交付期間終了時点(令和6年3月)		
	公表の方法		
	岡崎市ホームページにて公表		

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・踏切自動車交通遮断量は、(都)柱町線が予定どおり開通したことにより減少した。また、(都)若松線は、JR 東海と協定を締結した上で遅滞なくアンダーパス工事を実施しており、着実に事業の進捗が図られている。 ・岡崎駅針崎若松土地区画整理事業の(都)羽根若松線については、新型コロナウイルス感染拡大等による建設費の縮小と地権者交渉の遅れにより買収時期が遅れたが、減価買収を着実に進めたことで公共空地率は向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・(都)柱町線の開通により、鉄道横断部の歩車分離がなされ、東西の行き来の安全性が向上した。 ・岡崎警察署やシビックセンターといった公共公益施設や、病院などへのアクセス性が向上した。

○特記事項(今後の方針等)

- ・踏切自動車交通遮断量については、本事業期間で改善効果が認められるものの、引き続き安全・安心なみちづくりに向けて交通機能の向上を目指す。
- ・公共空地率については、目標値までは達成できなかったものの、引き続き地権者との交渉を進め、道路交通の充実のため令和8年度までに減価買収の完了を目指す。

○目標値の達成状況		
番号	指標(略称)	
	目標値/実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	1日当たりの踏切自動車交通遮断量の減少	
	最終 目標値	52,613 台時/日
	最終 実績値	42,924 台時/日
目標値の設定については、交通量推計を使用し設定したが、(都)柱町線の効果が予想を上回る結果となった。また、岡崎駅南地区の土地区画整理事業によって、新たな商業施設や病院が整備されており、踏切の西側周辺地域から東側への移動が、南側への移動に移ったことで南乾地踏切の交通量が減少したと推察している。		
2	交付対象事業地区内の公共空地率の向上	
	最終 目標値	25%
	最終 実績値	21%
新型コロナウイルス感染拡大等による建設費の縮小と地権者交渉に遅れが生じたことにより、買収時期が遅れたため。		